

大学スポーツの振興に関する検討会議「中間とりまとめ」骨子案

2016年6月20日

< 1 > 大学スポーツの振興に向けた基本的考え方（方針）について

○大学スポーツ振興の意義

- ・我が国の大学スポーツ資源（人材、施設等）の現状と課題
- ・公共的役割を担う存在としての大学スポーツの可能性

○大学スポーツの潜在力を発揮するための方向性

- ・高等教育段階でスポーツ分野を学ぶ意義の共有
- ・大学横断的かつ競技横断的統括組織（日本版NCAA）創設に係る検討

< 2 > 個別テーマの目標・達成に向けた取組について

1. 大学トップ層の理解の醸成

- ・我が国の大学トップ層におけるスポーツ理解の現状
- ・大学体育連合や学長会議等を通じた大学スポーツに関する理解の醸成

2. スポーツマネジメント人材育成・部局の設置

- 大学内のスポーツ分野を統括する部局、人材の必要性
 - ・我が国の大学スポーツ統括部局の先進事例
 - ・スポーツ・アドミニストレーターの配置促進

3. 大学スポーツの収益力の向上

- 大学スポーツの収益力向上
 - ・大学スポーツ先進国の現状
 - ・我が国の大学スポーツの収益力の現状
 - ・我が国の大学スポーツの収益力向上に関する先進事例と必要な取組
（民間企業等との連携、ネーミングライツの活用、大学スポーツイベントの充実、大学スポーツを通じた大学ブランドの向上）
- 大学の部活の在り方（組織や経理等）
- 民間資金を活用した大学スポーツ施設の充実

4. スポーツ教育・研究の充実

- 大学体育の充実と学生スポーツの環境の整備
- スポーツ科学研究の促進と成果の社会還元
 - ・我が国のスポーツ科学分野の研究の現状
 - ・大学におけるスポーツ科学研究の促進に向けた取組

5. 学生アスリートのデュアルキャリア支援

- ・学生アスリートへの教育上の配慮・就職支援の取組の充実
- ・大学の資源を活用した体育活動支援

6. スポーツボランティアの育成

- ・大学におけるスポーツボランティアの活動状況
- ・2020東京オリパラ大会と大学との連携の必要性

7. 大学のスポーツ資源を活用した地域貢献・地域活性化

- ・総合型地域スポーツクラブとの連携等による地域交流の推進
- ・スポーツ合宿等を活用したスポーツツーリズムの推進
- ・大学スポーツ施設の地域への開放の促進

＜3＞大学横断的かつ競技横断的統括組織（日本版NCAA）の在り方

- 学連等の現状
- アメリカのNCAAの現状と課題
- 日本版NCAAの方向性

＜4＞今後の方向性

夏以降、引き続き個別課題ごとの議論を重ね、次期スポーツ基本計画に反映させる。

以上